

今年度の受賞者を紹介します。

つばめ輝く女性表彰 2023

職場や地域で活躍する皆さんを紹介します。



小杉 愛さん
小杉農園

女性の少ない農業分野において、通信販売や農産加工などにチャレンジし、県内外のファン獲得や販路・経営規模の拡大に成功しています。家業だけにとどまらず、小中学校の農業体験支援やJA女性部としての味噌づくり講習会など、幅広い活動で活躍しています。



ちびさいKYOKAさん
SAI-GYM

新潟県内2人目の女子プロ総合格闘家で「国内最小最軽量女子ファイター」として、県内女子ファイターで唯一勝利をあげるなど活躍しています。トレーナーとして、女性や子どもたちに格闘技の楽しさを伝える活動や、地域のPR活動でも貢献しています。



古沢 由夏さん
株式会社やま電

「自分でものづくりをしたい」という思いから、地場産業の中でも女性が入りにくい電気関連の分野に挑戦し、お客様から信頼される仕事ぶりで活躍しています。後輩へのアドバイスを熱心に行うなど、会社にとって欠かせない存在になっています。



株式会社
i-D international

「女性が働きやすい職場環境づくりは、雇用を増やし、女性が輝くことに繋がる」と常に考え、中学生以下の子どもがいるスタッフへの特別休暇の付与など、女性が働きやすい・さまざまなことに挑戦できる環境づくりに取り組んでいます。



燕市農村地域生活
アドバイザー連絡会

新潟県農村地域生活アドバイザーに認定された19人の女性農業者が、地域文化の伝承者として、郷土料理の料理教室や味噌づくり体験会などで活躍しています。レシピ動画の制作や現代の米離れに対する取り組みなども行っています。

表彰の種類と対象



燕市在住、または主に燕市内で活躍している女性や、身近なモデルとなる輝いている女性が対象



主に燕市内で女性が活躍しやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる事業所または団体が対象



今年度は、3人と2団体を表彰 燕市で活躍する女性を応援

燕市は、女性就業率が県内20市の中で1位です。「ものづくりのまち燕」に代表される産業をはじめ、農業や防災、福祉、地域づくりなどのさまざまな分野で女性が活躍しています。

市では、すべての女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを推進するため、「女性が輝くつばめプロジェクト推進事業」を2016年度から実施。その一環として、身近なロールモデルとなる女性や女性の活躍を応援している事業所・団体を表彰する「つばめ輝く女性表彰」を行っています。

8回目の開催となる今年度は、「つばめ輝く女性賞」に、小杉愛さん（小杉農園）、ちびさいKYOKAさん（SAI-GYM）、古沢由夏さん（株式会社やま電）の3人が、「つばめ輝く女性応援賞」に、株式会社i-D international、燕市農村地域生活アドバイザー連絡会の2団体

がそれぞれ受賞しました。今年度の受賞者を含めて、延べ15人、12事業所・団体が受賞しています。あらゆる場面のロールモデルとして、今後もさらなる活躍が期待されます。

なお、今年度の受賞者を燕市公式YouTubeの「燕市版スリールール」で紹介中です。この動画は、関西テレビで放映されていた番組「セブンルール」を参考に制作・公開しています。



受賞された皆さんの紹介動画をYouTubeで公開しています。

